

令和5年度小田原市外国語指導助手派遣業務に係るプロポーザル審査
評価基準表

1 企画提案書等評価

(1) 評価項目

評価項目		判断基準	評価点
業務実績		・ A L T 配置業務の営業年数、過去3年間の県内及び県外の受注実績	5
業務遂行能力の 適格性		・ 総括責任者及び担当者の経歴、資格、勤続年数、職務実績、現在の受け持ち業務	5
財務状況		・ 財務状況は問題ないか。	5
採用・研修	A L T の採用体制	・ 採用基準（児童生徒に対応する資質・学歴資格・日本語能力の条件の明確化など）及び採用方法は適切か。 ・ 在籍 A L T の人数・勤続年数 ・ 雇用の安定性（本業務における採用スケジュール含）	10
	A L T の研修体制	・ 業務の質を確保するための研修（回数・期間・内容等）を行う体制が整っているか。 ・ 契約期間中の研修は十分かつ適切に行われるか。 ・ 業務における A L T の課題に対するフォロー研修は行われるか。	10
管理体制	労務管理体制	・ A L T の勤務状況の把握方法、勤務評価の方法、教育委員会や学校との連絡体制、その他労務管理の体制は適切か。 ・ 勤務評定並びに評価後の指導体制と内容が十分であるか。	10
	危機管理体制	・ 欠員、欠勤、遅刻等がある場合の代行の体制は十分であるか。 ・ 事故・トラブル・緊急時の体制は十分であるか。 （各種保険への加入等は適切か。） ・ 法令遵守、リスク管理（個人情報情報の漏洩防止）の取組は十分であるか。	10
	相談・ 連携体制	・ 教育委員会、学校、保護者からの要望、苦情等に適切に対応できる体制となっているか。 ・ A L T、教育委員会、学校間で、レッスンプランについてスムーズに情報共有できる体制が整っているか。	10
教材等の研究開発、 効果的な指導法の提案		・ 学習指導要領に対応した教材・教具の開発や指導方法等の研究体制が適切であるか。 ・ A L T が教員に対して、効果的な外国語教材及び学習プログラム、指導方法、アイデア等を提案できるか（海外とのオンライン交流含） ・ 教員との事前の打ち合わせや事後の振り返りなど、授業を円滑に進めるための準備等が適切であるか。	10
A L T の活用、 サービスの提供、 社会・地域貢献		・ 授業外の A L T の効果的な活用について提案はあるか。 ・ 積極的なサービスの提供はあるか。	5
		・ 過去2年以内の会社としての社会貢献の実績はどうか。 ・ 受託した場合の小田原市への地域貢献の提案はあるか。	5
合計			85

(2) 得点化基準

極めて優れる	・・・	評価点×1.0
優れる	・・・	評価点×0.8
相当	・・・	評価点×0.6
やや劣る	・・・	評価点×0.4
劣る	・・・	評価点×0.2
不適格	・・・	評価点×0.0

2 価格点

見積金額を対象として、次に示す方法に基づき価格点を付与する。

- ・参加事業者のうち、価格が最も低額であるものを第1位とし、価格点の満点である170点を付与する。
- ・その他の参加事業者の価格点は、第1位の見積金額（最低価格と当該参加事業者）と当該参加事業者の見積金額との比率により算出する。算出した得点の小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで求める。

$$\text{価格点} = 170 \text{点} \times \left(\frac{\text{最低価格}}{\text{当該提案価格}} \right)$$